

毎日厳しい暑さが続きます。クーラーの効いた部屋と、
外の気温の温度差にやられざみです。汗をかかない室内でも

水分と塩分をこまめに取りるようにしないと！！

ということで・・・今月は熱中症について。

猫ちゃん・特に犬ちゃんは熱中症に注意してあげてください。



熱中症にさせないために！！

1・散歩は早朝か日が沈む夕方に

特に太っている・短頭種などは熱がこもりやすいので要注意！！
人の手や足で触って熱い場合は犬・猫の足にも熱く、外の気温が
30℃以上を超える場合は絶対に散歩はしないでください。
火傷を起こすことがあります。



2・毎日新鮮な飲み水を用意

常に水を飲めるようにしてください。水浴び用に浅いトレーなどを
準備すると良いかもしれません。



3・室外にいる場合は、日陰がある場所に

時間帯によって太陽の位置が変わります。常に日陰がある場所においてあげましょう。

4・暑い日の車内に放置するのは絶対にしないでください。

車内の温度は外の温度より高温になりやすく危険性が高まります



犬の熱中症



- ・体が熱くなる
- ・目が充血したり、
耳の内側が赤くなる



- ・激しくあえぐような
咳をする



- ・足元がふらつく



- ・大量のよだれが出る



- ・ぐったりする

猫の熱中症



- ・元気がなく口を開けて呼吸をする



- ・足元がふらつく



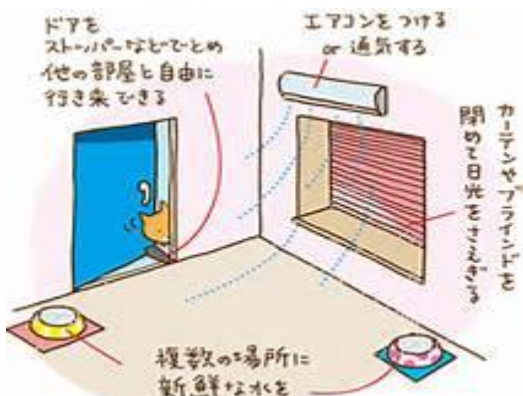
- ・よだれをともなう激しい呼吸



- ・酸欠によるチアノーゼや全身の痙攣

症状が進むにつれ、下痢やおう吐、痙攣、失神などの症状が見られ、ショック症状を起こして死に至る恐れがあります。

熱中症予防



- ・猛暑の日中、留守の時はクーラーや扇風機などをつけ温度調節を！
- ・厚手のカーテンなどで日差しをさえぎる。
- ・ねこちゃんは涼しい場所に移動できるようにしておく。
- ・新鮮な水をいつでも飲めるようにしておく。
- ・鼻の短い犬、黒い毛、高齢・幼齢の犬猫は特に注意が必要です。